

「大中遺跡の土器群

「61年前の歓喜」

10月7日(土)～12月3日(日)

開館時間 午前9時30分～午後5時

※月曜休館

ただし10月9日は開館し、翌日を休館とします。

観覧料 無料
郷土資料館展示室



▲1～3次調査で発見された第1土器群の調査風景(昭和38(1963)年撮影)

今から61年前の昭和37(1962)年に大中遺跡が発見され、同年と昭和38(1963)年に初めての本格調査となる1～3次調査が実施されました。この調査で出土した遺物の多くが「土器群」という遺構から出土しました。本特別展では「土器群」の性格や、土器群から出土した遺物について紹介するとともに、当時の調査員達が歓喜した土器群の遺物量を体感していただきます。



▲昼食中の学生作業員(昭和38(1963)年撮影)



▲土器群出土土器

関連イベント

●歴史講座(共催 兵庫県立考古博物館) 「何がスゴイのか?・・・大中遺跡」

- ▶日時 10月8日(日) 13:30～15:00
- ▶場所 兵庫県立考古博物館 講堂
- ▶講師 深井明比古
(株)Danto Tile 技術研究所 上席研究員、前当館学芸員)
- ▶費用 無料
- ▶定員 先着80名
- ▶申込み 9月24日(日)より電話受付
郷土資料館 ☎079-435-5000

●特別展解説(定員20名)

- ▶会期中の第2、第4日曜日14:00～14:30
※申し込みは不要です。
- ▶10月8日は歴史講座終了後15:30～行います。
※10月8日のみ事前申し込みが必要です。
- ▶問合せ 郷土資料館 ☎079-435-5000



▲発掘作業風景(昭和38(1963)年撮影)